

2. “クルーズの上手な申し込み方”

- a 「最初はパッケージツアーに入ってみる」 添乗員付きの団体ツアーで、飛行機やホテル、中には寄港地での観光まで組み込まれたものがあり手間なしである。船内で毎日発行される新聞（船内の催しなど一切の情報がこの中にある）を翻訳してくれるなど、外国のコトバが苦手な御同輩には楽チンである。

夕食だけ、テーブルが固定されるので団体に座ることになる。その時以外は自由なのだが、なぜか日本人（オバサン達）は何をするにも群れていることが多い。

- b 「エージェントの種類」 もとは①クルーズ専門の小さな旅行代理店が中心だった。ところがブーム到来で集客力の強い②有名旅行社や③ネット専門の代理店が進出してきている。それぞれに長短があるのは言うまでもない。

例示すると、①では「ゆたか倶楽部」「クルーズプラネット」「PTS」など。②では「JTB」「阪急旅行社」「近ツリ」など。③は「eクルーズ」「ベストワンクルーズ」「PRIクルーズ」など。

- c 「エージェントの選び方」 パッケージツアーに入っちゃおうと決めたのなら、上記bの①と②からパンフレットを取り寄せる。最近はクルーズの新聞広告も増えたからそれをきっかけにするとよい。料金は②よりも①の方が割安傾向だ。

個人で、というならまずはネットで上記bの③へアクセスし、HPを閲覧すると同時にメルマガ登録をするとよい。お得な情報と称するものが来る。個人の場合、航空券やホテルの手配が必要となるが一括頼んでしまうこともできる。私は目下、「eクルーズ」で船と寄港地での観光（エクスカージョン）を頼み、航空券とホテルを「HIS」に頼むというのが気に入っている。

なお、上記bの①のクルーズプラネットはHISの子会社、同じくPTSはJTBの子会社なので、団体・個人いかようなプランにも対応してくれるはず。

- d 「まずはどこへ行ったら？」 おすすめはカリブ海かハワイ4島めぐり。どちらもリーズナブルな価格と日程が楽しめる。商売の妨害になるが、日本船や日本近海のショートクルーズは止めた方がよい。船旅は非日常を楽しむものだと思うから。

では、ボン・ボヤージュ！

